



同業者ノ自衛策トシテ統一的原價計算法ノ適用

東, [セキ]五郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 18(6):957-976

(Issue Date)

1915-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052375>



同業者ノ自衛策トシテ統一的原價計算法ノ適用

神戸高等商業學校教授

東 稟 五 郎

現時ノ產業界ニテ各種ノ營利事業ハ其殆ド總テ優勝劣敗ノ自然淘汰ニ放任セラル、所ヨリシテ、少數ノ事業家ニシテ大多數ノ顧客ヲ犧牲ニ供シテ獨リ自ラ利益ヲ壟斷スルノ弊害ハ、殆ド全ク除去サル、所ナリ。然レドモ自由放任ノ結果ハ自然ニ同業者ノ競争ヲ惹起シ、若シ其度ヲ過ギテ愈々激甚ニ至ルトキハ、茲ニモ亦其害惡ハ續出スルモノト云ハザルベカラズ。曰ク粗製濫造、曰ク虛偽ノ廣告、瞞着ノ手段、曰ク投機僥倖心ノ鼓吹ニ對シテ誠意勤勉心ノ阻喪、而シテ其極ハ弱肉強食の殘忍ヲ演ズルカ否ラズンバ強弱併セテ諸ロ倒レノ慘狀ヲ見ルニ至ルベシ、而シテ同業者ノ倒産其モノハ自業自得ノ因縁ナリト云ヘバソレ迄ナリト雖モ、更ニ一面ヨリ觀ルトキハ之レ明カニ國家ノ資本財貨ヲ不經濟ニ消盡シ、或ハ富源ヲ不當不利ニ濫用破滅シテ、結局、國家社會ニ大ナル損害ヲ蒙ラシタルモノナリ。是ヲ以テ以上ノ災禍ヲソノ未然ニ防止センガ爲メニハ、場合ニ依リ、國家ハ或種事業家ノ行動ニ

種々ノ干渉取締ヲ加フルコト屢々ナルト同時ニ、同業者ハ奮フテ自家ノ利害保護ニ關シテ種々ノ劃策ナカルベカラズ。例ヘバ同業組合規約ノ制度品質共同検査所ノ設置、賣價一定ノ協約、共同的購買若クハ販賣組合ノ規約原料又ハ製品運送ニ關スル共同的特約、懸賞輸出獎勵法ノ如キ、コレ等ハ稍々積極的行動ナレドモ更ニ生産過多ノ調節法トシテハ夜業休止其他操業時間ノ短縮若クハ生産額制限ヲ同業者間ニ協約スルガ如キ消極的方法ヲモ講ズル等以上ハ何レモ同業者中ニ法外ナル競争ヲ敢行スルコトニ因ル弊害ヲ輕減セントノ目的ニアラザルハナシ。

然ルニ輓近米國ニテコノ同一主意ニ基ク同業者ノ自衛策トシテ新ニ發意サレタル方法アリト云フハ、同業者ノ製作品賣價又ハ料金ヲ一定センガ爲メ、コノ賣價又ハ料金ノ因テ來レル根本的條項、換言スレバ、其原價決定ニ要スル會計組織及ビ之レガ合理的計算法ヲ講究統一シテコノ模範的方法ニ基キ、計上シタル代價以下ニテハソノ製品若クハ勞役ヲ一切顧客ニ供給スベカラズトノ協約ヲ同業者間ニ締結スルニアリ。尤如此方法ハ有ラユル總テノ營業ニ區別ナク適用スベカラザルハ勿論ナリト雖モ、然レドモ或種ノ業務ニ對シテハ亦頗ル恰好且容易ニ行ヒ得ベ

キモノ、如シ、而シテ我邦ノ尙比較シテ幼稚ナル產業界ニ如此方法ノ實行ハ尙早
キニ失スルカノ疑ナキニアラスト雖モ、然レドモコレ亦他山ノ石以テ吾人參考ノ
良資タルベク、況ンヤ同方法ハ其端緒ヲ米國ニ開キテ間モナク英國ニモ亦採用サ
レタリト云ヒ、加之、米國ナル一商科大學ノ商務研究科ニアリテハコノ方法ニ縁ミ
テ近年更ニ種々ノ方面ニコレト類似ノ調査ヲ進ムルモノアリト聞クニ於テヲヤ、
コレ吾人ガ右ニ關シテ其詳細ヲ左ニ紹介スル所以ナリ。

時ハ一九〇九年(明治四十二年)十月ニテアリキ「職工使用印刷業者國際大會」(Inter-
national Congress of Employing Printers)ナル集會ハ米國シカゴ市ニ開催サレシガ、其目的
ハ各種ノ印刷物ニ對シテ原價決定ノ方法ヲ講究統一センコトニアリキ、而シテ參
加者ハ無慮一千ヲ下ラザリシガ、ソノ最大多數ハ開催地タルシカゴ市在ノ同業者
タリシハ勿論ナレドモ、合衆國內到ル處ノ重要市都ヨリスル第一流ノ印刷業者ヲ
網羅シタルノ外、更ニ遠ク英領加奈陀ナル幾多ノ市都ヨリ參加シタルモノモ亦少
カラズ、而シテ會期ハ僅々三日ニ過ギザリシモ其間ニ各種ノ印刷物原價ノ決定法
ニ關シテ學理上又經驗上ヨリ各自ノ意見ヲ吐露シテ之レニ質疑應答ヲ交換シ、且

ツ討論舌戰ヲ闘ハシタリ、例ヘバ或者ハ「其在住地方ニ於ケル印刷物原價計算法ノ實況」ヲ報告シ、或者ハ印刷物唯一ノ原料タル「各原紙ノ購入取扱ニ必要トスル經費ノ計算法」ニ關シテ講演シ、或者ハ「印刷中ノ各作業ノ時間經費ニ關シテ」或者ハ「一般の營業費即チ總係費ト印刷物原價トノ關係及ビ其割當方ニ關スル計算基礎」ニ關シテ、或者ハ「印刷諸機械其他ノ諸設備品ニ對スル減價償却法及ビ同償却金ト印刷物原價トノ關係」ニ關シテ、而シテ或者ハ「火災保險ト印刷業トノ關係」ニ就キテ講演ヲ試ミル等同業者間ニ極メテ有益ナル意見ノ交換ヲ行ヒタルト同時ニ同業者ノ一般的利害ニ關スル諸問題ノ協定決議ヲ遂ゲタルコト少カラザリシガ、就中ソノ最モ顯著ナルモノハ「米國印刷業者ノ原價計算法調査委員會」(American Printers' Cost Commission)ナル名稱ヲ附シテ十五名ノ委員ヲ選任シ而シテ同委員會ニテ調査ノ結果ハ合衆國ハ勿論英領加奈陀及ビ墨西哥ノ三國ヲ通ジテ總テノ印刷業者ニ之レヲ適用セシメンコトヲ期スルニアリキ。

是ヨリ先紐育、費府、ボーストン、シンシンナチ、セントルイ、シカゴ、ピッツバーグ、セント、ポール、桑港等ノ各市ニアリテ印刷業者ノ地方的團體ハ尙遠ク以前ニ存在シ

タルモノニシテ、就中紐育市ノ印刷業者ハ場所柄丈ケニソノ沿革最モ古ク、即チ一八六四年ノ往時ニ同業者組合(Board of Trade)ヲ設ケテ各自ニ遵守スベキ規約ヲ定メ、同時ニ一定ノ代價表ヲ協定シタルコトアリキ。然レドモ當時同規約ノ勵行嚴重ナラザリシニ起因シテ其効果ノ特ニ見ルモノナキニ鑑ミテ、其翌一八六五年三月ヲ以テ改メテ同業者ノ總會ヲ開キ會名ヲ紐育市タイポセター會(Typothetae)ト稱セシガ主唱者ドヴァンヌ氏(T. L. De Vinne)ノ物シタル其主意書ノ一節ニ曰ク「我が同業者ノ利益ハ各自ニ反目競争シテ一ハ他ヲ凌グ的ノ行動ニ依リ之レヲ期待シ得ベキニアラズ、否其交誼ヲ厚クシ親睦ヲ謀リ互ニ相助ケ相勵ムコトニ依リ初メテ同業者ノ向上發展ハ望ミ得ベキモノタルハ明カナリ、左ラバトテ吾人ハ利益獨占ノ主意ニテ漫リニ同業ノ連合ヲ企ツルコトヲ好マズ、然レドモ彼ノ無謀ニシテ殆ド破壊的競争ヲ敢行シ以テ同業者ニテ當然收ムベキ報酬ヲ收ムルコト能ハザラシメ、遂ニ同業者ノ衰微全滅ヲ來タスガ如キ憎ムベキ行爲ヲ防止センガ爲ニコノ團結ヲ必要トスルモノナリ、吾人ハ我が同業者ノ製作品代價又加工費トシテ吾人ノ當然收メザルベカラザル金額ヲ時折リ調査決定シテ我が同業者ノ標準的報酬

ノ何程ナルカヲ紐育市一般人士ニ認識セシメンコトヲ期ス云々ト即チ製作品等ノ原價決定法ナルモノハコノ古キ當時ノ同業組合ヲ必要トスル主趣ノ骨子タリシコトヲ見ル。

斯クテ同組合ハ各種ノ印刷物ニ關スル代價ノ標準ヲ一定シテ之ヲ同業者一般ニ實行セシメ以テ其効果ノ端緒ヲ開キタリシガ當時既ニボーストン及ビ費府ノ兩市ニテ右ニ倣ヒテ組織セラレタル同業組合トノ間ニモ氣脈ヲ通ジテ漸次ニコノ統一法ノ實行ヲ擴張シタリ。然ルニ更ニ其翌一八六六年ニ至リテハ以上三市ナル同業組合ノ發起ニテズビツツフイールド、ハーヴァード、ニューハヴン、オルバニ、バツファロー、シンシンナチ、シカゴ、バルチモア等各市ニ散在スル同業者へ移牒シテ紐育市ニ同業者ノ聯合會ヲ開催シ前記ト同一主意ニ基キテ同業者ノ自衛策且ツノ利益増進ニ關シテ種々ニ協議ヲ遂ゲ、且又未ダ組合ナキ地方ニハ新ニ組合ノ設立ヲ勸誘獎勵セリ、然レドモ同聯合會ノ効果ハ豫想ノ如ク多大ナラズ、而シテ爾後之ニ類スル會合ハ一再ナラズ企テラレタリシモ一張一弛其間ニ著シキ進歩ノ特筆スベキモノヲ見ザリキ。

然ルニ一九〇〇年(明治三十三年)ニ至リテ紐育市印刷業者フリュースター氏(Brewster)ハセントポール市ニ創立セラレテ直ニシカゴ市ニ踏襲サレタリト云フ例ニ倣ヒテ紐育市ニ『フランクリン俱樂部』(ベンジャミンフランクリン氏ノ印刷業ヨリ身ヲ起シテ米國ノ一偉人ヲ成シタルニ縁ミタル名稱ナルベシ)ナル一團ヲ創立シタリシガ、コノ同名稱ノ俱樂部ハ俄ニ費府、ボーストン、バルチモーアインデアナポリス、ピッツバーグ、ワシントン其他ノ市都ニモ亦模倣セラレテ、就中紐育費府及ビボーストンナル三市ノ俱樂部ハ其中堅トナリテ自餘ノ諸團ヲ操縱シタリシガ、約一箇年後ニハ俱樂部ナル名稱ハ寧ロ社交的集團ニ紛ラハシトノ理由ニ依リ各市俱ニ俱樂部ナル名稱ヲ改メテ「印刷業者組合」(Printers' Board of Trade)トノ舊名ニ復シテ茲ニ其面目ヲ一新セリト云フハ、當時殆ド其最極度ニ萎靡シタル印刷業者一般ノ利害關係ハコノ新時期ヨリ以後初メテ眞實ニ向上進歩ノ道ヲ開キタリト見ルベケレバナリ。即チ此頃以後同業者ハ其組合ヲ介シテ各市都相互ニ連絡ヲ通ジ以テ協同一致ノ行動ニ出ヅルノ實ヲ舉ゲ、而シテ當時合衆國內全印刷業者ニ大約共通シタル各種ノ定價表ナルモノハ事實上右三市ナル同業組合ノ協定シタル

モノニ同ジト云フモ敢テ不可ナカリキ、何トナレバ一九〇七年明治四十年ニハ以上三市ノ組合代表者ハボーストン市ニ會合シテ印刷物ノ原價ヲ決定スベキ其根本的諸事項ニ關シテ研究且討議スル所アリシガ、各自ノ經驗ニ基キタル諸種ノ統計ヲ綜合シテ之ヲ比較對照シタリシニ、三市ノ組合ニテ其原價計算法ハ各々多少異リタル徑路ニ依リタルモノタリシニ拘ハラズ、偶然ニモ其結果ハ驚クベク相接近シタルモノタルコトヲ發見シタレバナリ。

是ニ於テコノ種ノ集會ヲ尙一層他ノ市都ナル同業者ニ擴張シタランニハ其裨益便利ハ倍々多大ナルベキコトヲ期待シタルニ依リ、當時特ニ選任シタル調査委員ハ尙一層深重緻密ニコノ原價計算法ヲ講究審查シ、而シテコレガ應用法ヲ成ルベク廣ク同業者ニ知悉セシメントノ目的ヲ以テソノ書式雛形及ビ使用法ヲ詳解シタル小冊子ヲ特ニ編纂シテ之ヲ「紐育式雛形」ト命名公表シタリシガ、同雛形ハ間モナクシカゴ、ミルウガーキー、ミンチヤポリス其他ノ市都ナル同業者ニテ原價計算法ノ骨子ヲナシ殊ニシカゴ市ノ同業者間ニハコノ雛形ヲ「雛形第九號」ト稱シテ特ニ著名ナルニ至レリ。

斯クテコノ小冊子ハ一九〇七年八月ニハペンシルヴェニア、紐育其他大西洋岸ナル諸州ノ印刷業者約三千名ヘ宛テ、發送サレタルコトアリ、又同年十月ニハアトランチック市ニテ右ニ關スル同業者有志ノ會合ヲ催シテ就中各種ノ印刷機械時間經費率及ビ加工費ヲ協定シタルコトアリ、越ヘテ一九〇八年ニハシカゴ及ビミルウオーキーナル兩市ノ同業者ノミニテ右ト同様ノ調査ニ從事シテ其結果ノ彼ノ〔紐育式〕ト殆ド同一ニ歸着シタルコトヲ發見シタルニ依リ、茲ニ又原價計算法ノ統一シ得ベキモノタルコト及ビコノ統一ヨリ生ズル裨益ノ偉大ナル所以ヲ一層深ク一般印刷業者ニテ承認スルニ至リキ尤モコノ間組合本部ニ向ヒテ小規模ノ印刷業者ニシテ在來一切ノ原價計算法ヲ有セザリシモノニモ亦適用シ得ベキ會計組織ノ立案ヲ渴望スルモノ少カラザリシニ依リ、委員ハコノ希望ニ添ハシムルガ爲別ニ一定ノ模範的雛形ヲ草案シ、但多少ノ取捨折衷ハ自在ニ行ヒ得ベキ方法ヲ考案附記シテ之ヲ小冊子中ニ收メ、〔同業組合編纂原價計算法〕(Board of Trade Cost System)ナル名稱ヲ冠シテ之ヲ合衆國內到ル處ノ同業者ヘ普ク頒布シタリシガ、コノ方法ヲ尙一層大規模ニ普及實行セシメントノ企圖ハコレゾ遂ニ翌一九〇

九年十月ヲ以テシカゴ市ニ開催シタル「印刷業者原價決定國際大會」ノ成熟實現ヲ見ルニ至リタルナレ。

尤茲ニ國際大會ト稱シタルハ同會ヘノ出席方ヲ英領加奈陀及ビ墨西哥ノ同業者ニ移牒勸誘シタルニ因ルベク、又現ニ同會ヘノ出席者中ニハコノ兩國ヨリノ遠來者若干數ヲ含有シタリト云フ、而シテコノ同主意ノ會合ハ其翌一九一〇年十月ニハセントルイ市ニ之ヲ開キ、更ニ一九一一年九月ニハデンヴァー市ニ、而シテ翌一九一二年九月ニハシカゴ市ニ之ヲ開催シ、而シテ以後毎年同様ノ會合ヲ繰返ヘシテ原價計算法ノ完全ナル統一、從テ印刷物代價ノ協定ヲ斷行シ以テ同業者共存自衛ノ方法而カモ其最モ合理的手段ヲ講ズルニ勗メ、今ヤ愈々以テ健實鞏固ナル團體ヲ形成スルノ情況ハ實ニ驚嘆ニ堪ヘザルモノアリ。

元來米國ハ其建國ノ尙新シキ丈、百般ノ事物ニ急進突飛ノ發展策ヲ企ツルヲ以テ其誇リトスル處、隨ツテ右所述ノ如キ新案ノ着々實行サル、ハ特ニ怪ムニ足ラズト雖モ、茲ニ特筆スベキハ、右ト同様ノ方法ハ由來保守樂天ヲ特色トスル英國ニモ亦最近ニ適用サル、ニ至リタル事情ニシテ、ソハ一九一一年(明治四十四年)十月

倫敦ニテ開催ノ印刷業者大會ノ席上ソノ協議問題ノ一ハ製造原價ノ其當時著シク騰貴シタル事實ニ基キ印刷物ノ代價ヲ一般ニ引上グルノ必要アリト云フニアリシガ、コノ問題ハ畢竟原價計算法ヲ統一シテ、然ル後、初メテ解決スルコトヲ得ベキモノナル所ヨリシテ、玆ニ若干名ノ調査委員ヲ其爲特ニ選任スルコトニ衆議一決シタリ、爾來一箇年以上同委員ハ免許會計士ロバート氏(A. C. Robert)ノ立案シタリト云フ〔ウエストミニスタ〕式ヲ始メ、其他英國ニテ在來廣ク採用サレタル幾多ノ原價計算法ニ關シテ比較研究ヲ遂行シ、且又調査委員ノ一名ハ遠ク米國ニ渡リテ同國ニ慣用ノ原價計算法ヲ視察調査シテ以上諸報告ヲ參考斟酌シタル其結果ヲ一冊ノ報告書ニ編成シ、斯クテ一九一三年二月ニ至リテ同業者ハ初メテ原價計算法決定ノ目的ヲ以テ倫敦ニ其大會ヲ開催シタリシガ、出席者一千名以上ニ達スルノ盛況ヲ呈シ、玆ニ調査委員ノ報告書ハ各實務家間ニ質問應答セラレ、且其討議ニ附セラレテ後滿場ノ協賛ヲ經タルヲ以テ、今ハ之ヲ一般ノ同業者ニ配布スルノ運ビニ至リタリ、而シテコノ報告書中ニモ亦米國ノソレニ倣ヒテ各種ノ計算書雛形及ビ懇切ナル使用法ヲ説明シテ在來殆ド一切ノ原價計算法ヲ用ヒザリシ小規

模ノ印刷業者ニ至ル迄容易ニ之レヲ適用シ得ルノ方法ヲ解シアリ加之コレガ適用法ニ精通スル人ヲ特ニ各地ニ派遣シテ當業者ニ之ヲ講演シ且手ヅカラ之ガ適用法ニ援助ヲ與フルノ道ヲモ講ジタルガ如キハ實ニ用意ノ周到ナルモノト云ハズンバアルベカラズ蓋シ斯ク原價ノ計算法ヲ合理的ニ研究決定シテコノ方法ニ基キテコソ製品ノ眞實ナル代價ハ之ヲ一定スルコトヲ得ベケレ而シテコノ統一の方法ヲ同業者全體ニ普ク適用セシメテ然ル後初メテ賣價ノ協定ハ之ヲ期シ得ベキナリ即チ同業者ノ漫リナル競争ヨリ生ズル諸種ノ弊害ハ如此根本的矯正策ヲ實行シテ後初メテ之ヲ根絶スルコトヲ得ベキナリ而シテ我邦ニテ往々其實例アルガ如ク縱令同業者ノ集會ヲ催ストハ云ヘ所謂拇指定木的方法若クハ抽象的口實ノ下ニ種々ノ協議ヲ重スルノミニシテ特ニ確固タル基礎ノ據ルベキモノ無キニ唯漠然ト同業者ノ製品代價又其料金ノ一定ヲ協約スルガ如キハ之ヲ以上述ブルガ如キ英米ノ同業者自衛策ニ比スルトキハ實ニ雲泥霄壤ノ相違アリト云ハズンバアルベカラズ。

以上ハ專ラ印刷業者ノ自衛策ニ關スル事情ナレドモ之レト稍々同様ノ筆法ハ

米國ニテ更ニ他ノ業務ニモ亦應用セラレシトスルノ傾向アリト云フ、其一例ハ銀行業ノ一局部ニ行ハル、原價計算法ナリトス、但茲ニハ同業者全體ノ自衛策ニアラズ、否銀行各自ノ自衛策トシテ原價計算法ノ應用ト云フヲ以テ至當トナスベク、然レドモ如此方法案出ノ動機ハ前述ノ印刷業者ニ行ハル、原價計算法ヲ必要トシタルソレト正シク同一ニシテ唯彼レハ已ニ廣ク同業者全體ニ之レヲ適用セシメタル迄ニ進歩發達シタルニ反シテ、是レハ今尙單ニ其萌芽ヲ發シタル際ナリト云フ相違アルノミ尙其詳細ヲ述ベンニ。

扱銀行業ノ半面ハ成ルベク多額ノ預金ヲ吸收スルニアリトシテ近年同業者競爭激甚ノ結果ハ實際ニ收支償ハザルニ拘ハラズ、尙有ラユル手段ヲ盡シテ預金者ノ便利ヲ謀ルニ熱中スルモノ、如シ、故ニ若シ強ヒテ收支ヲ償ハシメント欲セバ不得已不健全ナル貸付ヲナシ及ビ不確實ナル有價證券ニ放資スルガ如キ危險極マル營業ヲ敢行スル事ナキニアラズ、故ニ若シ一朝有事ノ日ニハ直ニ破綻ヲ生ジテ堅固確實ナル他ノ銀行ニモ亦少カラザル損害迷惑ヲ蒙ラシムルコトハ明白ナリ、是ヲ以テ其病源タル同業者競爭ノ弊ヲ防止センニハ如何ナル條件ヲ具備シ又

如何ナル事情ノ下ニ預金ノ一定額ヲ吸收シテ果シテ銀行ニ有利ナルカ、換言スレバ、預金一定額ノ原價即チ其經費ハ何程ナルカ、而シテ銀行業者ガ一般ニ適用シ得ベキ預金原價ノ計算法ハ抑モ如何ニスベキカ、コノ諸問題ニ就キテハ米國ナル銀行ノ識者ハ蓋シ已ニ各々其腹案ヲ有シタルベシ、然レドモ之ニ對スル意見ヲ初メテ發表シタルハ一九一〇年六月コランブス市ニテ開催ノ「オハヨー州銀行協會」ノ總會ニテ同州トロント市「バンカース出版會社」長トーマス氏(F. W. Thomas)ニシテ其講演ノ内容ハ之レヲ省略スルトシテ、ソハ「銀行ニ於ケル原價計算法」(Cost Accounting in a Bank)ナル小冊子ニ收メテ當時世ニ公ニセラレタルコトアリ、而シテ其翌一九一一年八月ニハ桑港ナル第一國立銀行上席書記「ボールドウェル氏」(G. O. Bordwell)ハ「銀行勘定ノ解剖」(Analysis of a Bank Account)ナル小冊子ヲ上梓公表シ、茲ニモ亦同一問題ヲ解説シタルコトアリシガ其卷首ニ標榜シタル要領ヲ摘録スル時ハ、「(一)預金勘定ハ銀行ニ利益ヲ與ヘツ、アルカ、(二)預金勘定ハ損失ヲ與ヘテ取扱ハレツツアルカ、(三)預金勘定ノ殘額ハ確適ニ何程ヲ増加シテ或ハ如何ナル條件ノ下ニハ銀行ノ損失ヲ轉ジテ利益トナシ得ベキカ、(四)預金勘定ハ現ニ銀行ニ有利ナリトシ

テ銀行ハ現時以上尙多クノ利益ヲ享有スルヲ當然トスルカ、(五)或ハ預金者ハ現時以上ニ銀行ノ恩澤ニ浴スルヲ當然トスルカ、以上ノ諸問題ヲ銀行當事者ト及ビ預金者トノ兩側面ヨリ公平誠實ニ解決スベキ諸原理ノ講説ハ本書ノ主眼トスル所ナリト即チ同書ノ内容ハ銀行預金ノ原價計算法ヲ講究スルニアリタルコトハ明カナリ、コノ外シカゴ大學內商科學生ノ卒業論文トシテ右兩氏ノ所論ヲ敷衍シタル商業銀行勘定ノ解剖ノ發表アリトシテ、爾來コノ種ノ原價計算法ハ銀行者ノ大ナル注目ヲ惹キ且ツ銀行ノ實際ニモ亦現ニ行ハル、モノアリト云フハ紐育其他米國ニテ重要ノ市都ニテ第一二品位ノ銀行ニアリテハ或條件ヲ具備セザル預金ハ一切之レヲ取扱ハズ又利息ヲ支拂ハザルコトハ勿論若シ強ヒテ取扱ヲ懇請セラル、トキハ少カラザル手數料ヲ支拂ハシムルコトアリト、而シテコレガ實行ノ當初ハ預金者ノ惡感情ヲ受クルコトナキカニ關シテ銀行家ノ多少懸念シタル所ナリシモ、其結果ハ反テ良好ナリシト云フハ預金者ニシテ何故ニコノ手數料ヲ必要トスルカ其根本的理由ハ單ニ銀行者ノミナラズ實ハ一般預金者ノ安全確實ヲモ期センガ爲ニアリ、而シテ若シ夫レ總テノ預金ト對シテ利息ヲ附スルカ或ハ無

手数料トセバ銀行ハ不本意ニモ危險ノ營業ヲ敢行セザルベカラズトノ道理ヲ充分ニ咀嚼了解シタル或富豪且又或面目以上ノ有識者ハ寧ロ之レヲ快諾シタルノミナラズ中ニハ他ノ銀行ニテ利息附ノ預金ヲモ引出シ來リテ今ハ手数料ヲ需求スル銀行ヘ預ケ換ヘテ斷行シタルモノサヘアリタリト云フ我邦ノ現情ヨリ推ストキハ實ニ驚クニ堪ヘズト雖モ蓋シ財貨富力ノ充溢セル彼ノ國ニテ如此事實ハ亦必ズシモ虛構ニハアラザルベシ。

尙附言スベキモノアリソハハーヴァード大學内ノ商科ニ特色トシテ設置シタル商務研究局(Bureau of Business Research)ノ研究事業トシテ特定ノ商工業ニ模範的原價計算法其他統一の會計組織ノ調査ニ着手シタル一事ニシテ商科大學長ゲイ氏(E. F. Gay)ノ公言スル所ニ依レバコノ調査ヲ始メタル其動機ハ全ク彼ノ印刷業者同業組合等ノ大々の聯合ニ依リ原價計算法ノ統一策ニ成功シテ同業者各自ニ其多大ナル恩澤ニ浴シツ、アルヲ目撃シタルニ發シタリト而シテ第一ニ着手シタル調査ノ目的物ハ先ヅ靴ノ小賣商ニ適用スベキ統一の會計組織ノ立案ニアリシガ調査ノ方法ハ合衆國內ニテ人口一萬以上ノ都市ニ居住シ約一萬弗以上ノ資本

ヲ投ズト思ボシキ靴商ニ移牒シテ或ハ暑中休暇ニ乗ジテ多數ノ學生ヲ特ニ各地ニ派遣シテ各靴商ノ現ニ行ヒツ、アル會計取扱法ノ實況ヲ報告セシメ之レヲ資料トシテ種々ニ工風考案ヲ凝ラシ又大學所在地タルボーストン市及ビ其附近ナル知名ノ靴商外ニ免許公營會計士ヲ加ヘタル若干名ヲモ亦コノ調査委員ニ囑託シテ絶ヘズ彼等ノ援助ヲ請フコトニ勗メ而シテ調査ハ一九一一年秋季ニ着手セシガ約一箇年ノ苦心ヲ經テ一九一二年末ニハ一應之ヲ一小冊子ニ編纂スルコトヲ得タレドモ尙諸所ニ訂正増補ヲ必要トナシタルニ依リ更ニ之ヲ完成シテ『小賣靴商適用ハーヴァード式會計法』(Harvard System of Accounts for Shoe Retailers)ナル名稱ノ冊子ニ上梓公表シタルハ更ニ一箇年後ノ一九一三年一月ニアリキ而シテ此名稱ハ單ニ帳簿組織一組ノミカト見ラルレドモ就中損益ノ計算法ニ關シテ其詳細ナル雛形及ビコレガ使用法ヲ玩味スルトキハコレ亦統一的原價計算法ノ一種ト見ルモ敢テ不可ナキナリ同大學長ゲイ氏ハコノ調査事業ノ經過ヲ報告スル傍ラ附言シテ曰ク「近年ニ於ケル生活費ノ一般的騰貴ニ就キテハ其原因ノ何レニアルカニ關シテ識者ハ種々ニ講究ヲ怠ラザル所ナリ而シテコノ問題ニ附帶シテ研究

スベキ一要件ハ疑ヒモナク商品ノ販賣ニ要スル眞實正當ナル經費ハ何程ナルカ
換言スレバ、小賣商人ノ當然收ムベキ報酬ハ何程ナルカヲ精密ニ調査スルニアリ
而シテ彼等ハ不當ニ過分ノ利益ヲ壟斷シテ以テ一般顧客ニ高價ヲ支拂ハシメン
トスルニアラザルカ之レ解決ヲ要スル問題ノ一ナリ而シテハーヴァード大學商
科ニテ如此學問的研究調査ヲ遂行スル其主趣ハ商人彼等自身ニ其當然收ムベキ
報酬ヲ得シメン事ヲ期スルト俱ニ其收ムベカラザル利得ヲ彼等ニ得ザラシメン
コトヲ期シ以テ國家社會問題ノ根本的救濟ヲ行ハントスルニ外ナラザルナリト
即チ其根本主意ハ印刷業ナルト靴商ナルト將又銀行業ナルトニ擇ミナク總テ統
一的原價計算法ヨリ生ズル自他兩様或ハ公私兩側面ノ裨益便利ヲ謀ランコトニ
歸着スルナリ而シテ同大學商務研究局ハコノ第一着事業ヲ完成シテ其良効果ヲ
收メタルヤ引續キ更ニ乾物小賣商(Retail Grocer)ニ適用スベキ模範的會計組織ノ調
査ヲ始メタリシガ茲ニモ亦前同様ノ苦心焦慮ヲ重テ其果實ハ昨年ニ至リテ之
レヲ第二回ノ小冊子ニ編纂シテ『乾物小賣商適用「ハーヴァード」式會計法』(Harvard
System of Account for Retail Grocers)ナル名稱ヲ冠シテ合衆國內各所ノ同業者其他ノ希

望者へ之レヲ配布シタリト云フ、而シテ同冊子ノ説明ノ叮嚀ヲ極ムルハ云フ迄モナク、若シ質疑アラバ喜ビテ之ニ應答スベキコトヲ約スル等其懇切實ニ周到ナルモノアルヲ見ル。

要スルニ英米諸國ニアリテモ同業者ノ自衛策ハ其初メハ單ニ同業組合ヲ組織シテ或規約ヲ協定シ以テ各自ノ自由競争の行動ヲ取締ルニアリタルコト我邦ノ現狀ニ於ケルソレト大差ナカリシコトノ一斑ハ前述印刷業者組合ノ米國ニ於ケル古キ沿革ヲ見テ明カナリ、是ヲ以テ其最モ道理ニ適合シタル根本的方法ヲ講ジテ以テ自身ヲ裨益スルト同時ニ又社會ノ公益ニ貢獻シツ、アルコト上述ノ如キ現時ノ情況ニ到達シタルニハ其間ニ種々ノ徑路曲折ヲ通過セザルベカラズトハ是亦至極穩當ナル評論ナリ。然レドモ既ニ如此理想的模範ヲ現實ニシタル英米ノ事情ヲ強チ遠カラザル彼岸ニ見聞スルトキハ、我邦ニテ就中產業界ニ於ケル諸制度文物ノ進歩ハ何故ニ遲々振ハズシテ尙未ダ一舉ニヨノ盛域ニ到達シ能ハザルカ、吾人ハ茲ニモ亦甚ダ遺憾ニ堪ヘズト云ハズンバアルベカラズ。

正 誤 (三〇頁ヨリ續ク)

誤

正

第一號	頁	行
五三	九	
五五	二	
同	一二	
同	同	
五七	四	
五八	六	
六一	七	
同	同	
六二	一	
六四	二	
六六	八	
同	一二	
六七	一一	
六八	三	
同	五	
七〇	一三	
七一	二	

ルコトヲ
保險市場ニ附ス
仲立國
戰時危險
異差
認メザルベシ
支拂フベキコト、シ
拿捕セラレ六箇月間
擔保ノ條項
引受クハシト有力ナル激論
己ニ開戰當時
見出題目ヲ五號活字トス
價額ハ
保險價額ノ正否ハ
「アンダーライター」保險會社
The Hague ナ十二行目ノ Convention ノ前ニ移ス
敵國ノ商船中

ンコト」ヲ
保險市場ニテ附ス
中立國
戰爭ノ危險
差異
認メザルナレ
支拂フベキコト、ス
拿捕セラレテ六箇月間
擔保條項
引受クベシトノ有力ナル議論
己ニ國家ガ開戰當時
價額ハ
保險價額ノ正確ナルトキハ
「アンダーライター」又ハ英國保險會社
敵國商船中

(以下七〇頁ヘ續ク)